

# 神奈川県労働局長が「ベストプラクティス企業」を訪問しました ～ 大洋建設株式会社 の取組について ～

神奈川県労働局（局長 西村 斗利）は、令和4年11月10日（木）、過重労働解消キャンペーンの一環として、時間外労働の削減など働き方の見直しに積極的に取り組んでいる「ベストプラクティス企業」として、横浜市戸塚区の「大洋建設株式会社」を訪問しました。

訪問当日は、時間外労働の削減や年次有給休暇の取得促進、仕事と子育て等との両立支援などの働き方改革の取組についての意見交換、本社事務所における取組の視察を行ったほか、建設現場で業務を行っている若手社員の方々の声をお聞きました。

## ベストプラクティス企業 大洋建設株式会社

- 本社所在地：横浜市戸塚区戸塚町157
- 業務内容：総合建設業・不動産販売業及び不動産賃貸業
- 代表者：代表取締役 黒田 憲一
- 労働者数：123名（男性100名 女性23名）



横浜市戸塚区に本社を置く「大洋建設株式会社」は総合建設業等を営む労働者数123名の企業です。

同社では、建設業は労働環境が厳しいというイメージもあり、なかなか労働者が定着してくれないといった状況にあるが、優秀な人材に入社してもらい長く働いてもらうためには、労働者が安心して安全に働ける職場環境を作ることが重要であるとして、職場環境の改善に取り組んでいました。

建設業においては、工期を守らなければならないこと、工事内容によっては夜間のみあるいは土日のみしか工事ができないこと、天候に影響を受ける作業が多いこと、発注者との打ち合わせに長時間を要する場合があること、といった業界特有の制約があります。

同社では、このような制約がある中、時間外労働の削減等に工夫して取り組んでいました。

訪問の結果は次のとおりです。（次頁へ続く）

訪問当日は、労務管理のご担当者から、労働者1人1人が健康でいきいきと働くことができるようにするため、時間外労働の削減や年次有給休暇の取得促進の取組や、育児等の事情を抱える方が働き続けることができる環境を整備する取組を進めているとして、会社の具体的な取組内容



の説明がありました。この後、本社事務所等の視察を行いました。本社事務所では、具体的な労働時間管理の見える化やデジタル化の取り組みを、食堂では快適に利用できるための取り組みを紹介していただきました。

その後、黒田社長と局長との間で意見交換を行いました。

また、建設現場において業務を行っている若手の社員にもお話を伺いました。

最後に、局長から「働き方改革に積極的に取り組み、労働者が職場に行きたくなるような様々な工夫をされており、県内の企業にとって大変参考になり励みにもなる



ので、これからも地域の建設業界を引っ張っていただき、取り組みを進めていただきたい。」とメッセージを送り、社長からは、「社員がやりがいをもって働き会社に来ることが楽しいという会社を目指すとともに、地域に貢献し街づくりに貢献する会社であることに、引き続き尽力していきたい。」と決意を述べられ、視察を終了しました。



### 建設現場の若手社員の声

■自分が入社した頃は、労働時間が長く特に若手は休みが取りにくい状況でした。しかし、今は週休2日制となり、労働時間も削減され、女性社員が入ってくるようになりました。建設現場に女性社員がいるだけで、現場の雰囲気、色合い、清潔さ等がここまで変わるのかと驚いています。これからも建設現場で女性社員にどんどん活躍してもらいたいと思っています。

■建設現場は体格の違い、トイレの問題等で女性にとって働きにくい職場だと思っていました。そういったなか、それまで職人の方と共同で使っていたトイレについて、女性専用のきれいなトイレを設置していただくなど、女性にとって働きやすい環境を一つ一つ整備していただいているため、大変ありがたいと思っています。

## 働き方の見直しに向けた取組

### ○ 時間外労働の削減

#### ◆ 労働時間管理の『見える化』

勤怠管理システムを導入し、特に現場部門の勤怠の状況も管理者が把握することができ、また、労務管理担当が全スタッフの時間外労働の状況を管理することにより長時間労働の防止に努めている。

#### ◆ 週休2日工事の推進

工事の受注段階において、週休1日の工程表だけでなく週休2日の工程表も提示し、発注者に対して理解を得る取り組みを実施している。

(現在の週休2日の現場：公共工事 2現場、民間工事 2現場)

#### ◆ オンライン会議の導入

毎月本社に集合し、工事会議を開催していたがオンライン会議を導入することにより現場と本社との移動時間を削減している。また、都度業務を指示できる環境となり、仕事の手戻り防止につながっている。

#### ◆ 生産性の向上

ソフトウェアの導入により、現場写真記録や安全書類、記事のとりまとめ作業時間を短縮している。

請求書の電子化により、郵送にかかる作業時間を削減している。

#### ◆ 業務シェア

現場間での業務シェアが行える体制を整えたことにより、繁忙の現場があっても現場担当者の負荷が大幅に削減した。また、事務作業を専門に行う社員を配置することにより負荷の大幅な削減につながった。

### ○ 休暇の取得促進

#### ◆ 年次有給休暇取得計画表の活用

有給休暇の取得日数が少ない社員に対し、取得計画表を提出させ、管理者からフォローを行うことで取得率の向上を促進している。

#### ◆ 建設現場部門における取得促進

現場の工事期間中は繁忙のために有給休暇の取得が難しい場合があるため、工事終了後に代休、リフレッシュ休暇、年次有給休暇を活用して、「2週間連続休暇」を取得できるような環境作りを行っている。

○ **子育て等との両立支援など柔軟な働き方の推進**

◆ **時差勤務の制度化**

コロナ禍における柔軟な働き方を実現するため、また、ライフスタイルに合わせた働き方を制度化するため、時差勤務を導入している。

◆ **育児休業の取得促進**

育児休業の取得を積極的に働きかけ、男性 2 名が育児休業を取得している。

### 取組の成果

○ **時間外労働の実績**（1人平均の時間外労働/月）

2017年度 **25.5 時間** → 2019年度 **22.2 時間**

○ **年次有給休暇の取得率**

2021年(4月～10月) **3.9 日** → 2022年(4月～10月) **6.1 日**

○ **育児休業の取得実績**

2021年以降、計**4回**（**女性2回、男性2回**）の育児休業取得